

横浜市会議員 山崎 誠

ヨコハマ市政レポート

<http://makoto5050.net>

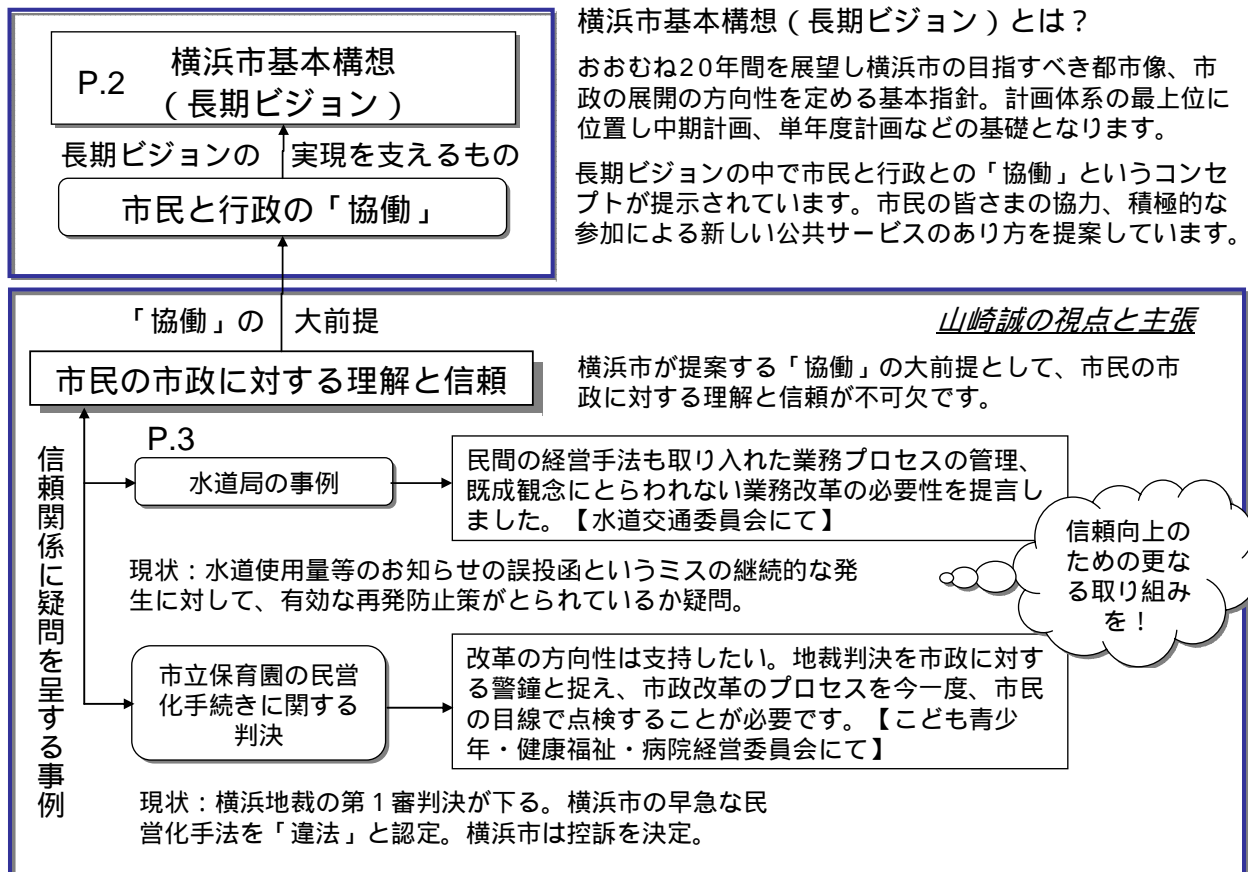
横浜市基本構想(長期ビジョン)が策定されます

横浜市会議員の山崎誠より、5月の市政についてレポートいたします。5月31日から横浜市会平成18年の第2回定例会が開催されています。本議会では、横浜市基本構想(長期ビジョン)について審議、決定されます。これからの20年間を見据えた横浜市が目指すべき都市像とは?その概要をご報告いたします。



3分間でわかる 山崎誠の「ヨコハマ市のここがポイント!」

本レポートでお伝えしたいポイントをチャート式でまとめました。詳細は2,3ページをお読みください。



近況報告

5月31日の本会議において今年度の委員会の人事が決定されました。私、山崎は、常任委員会は「こども青少年・健康福祉・病院経営委員会」、特別委員会は「生活安全・危機管理・消防・情報化社会特別委員会」の委員にそれぞれ選任されました。委員会の場を活用して「子育て介護」「安全安心」「多様な行政サービス」の公約実現に向けて全力で取り組みます。



「横浜らしさ」

横浜らしさとは何なのか？過去あるいは現にあるものに求めるのではなく、未来のあるべき姿から、新しい「横浜らしさ」を作り上げたい。子育て・教育、福祉、環境など、どこかの分野で世界をつくる、そういう取り組みをもって、「横浜らしさ」の創造に繋げてゆきたい。

「協働」

基本姿勢として、市民と行政の「協働」を柱にしているが、その前提として、市政に対する市民の理解と信頼が不可欠。長期ビジョンの行政の役割の部分に、市民に信頼される市政を目指す決意表明を追加すべきと考える。

横浜市基本構想(長期ビジョン)原案

これまで横浜市政は、昭和48年6月に議決された横浜市基本構想に基づいて進められてきました。この基本構想をリニューアルする作業が、一昨年から始まり、本年の1～2月に行われたパブリックコメント(4,715名の方々から意見が寄せられました)による修正を経て、原案が確定しました。その概要は以下の通りです。

市会定例会の今会期中(5/31-6/23)に、全員参加の基本構想特別委員会が設置され、原案を集中審議します。

1. 横浜の都市像

市民力(市民の活力と知恵)と創造力(地域の魅力と創造性の発揮)により新しい「横浜らしさ」を生み出す都市

2. 都市像を支える5つの柱

- 世界の知が集まる 交流拠点都市
- 新たな活躍の場を開拓する 活力創造都市
- 多様な働き方や暮らしができる 生活快適都市
- 市民の知恵がつくる 環境行動都市
- いつまでも安心して暮らせる 安全安心都市

3. 実現の方向性と取り組み

- 多様な文化を持つ人々と共に生きよう
- 充実した学びにより豊かな人生を送ろう
- 子どもを温かく見守りのびのびと育てよう
- 横浜ならではの魅力を創造し都市の活力を高めよう
- 活発な情報交流により新たな可能性を創造していこう
- 個性を生かし働ける社会をつくろう
- 暮らしやすい快適なまちづくりをしよう
- 地球にやさしい都市環境を未来に引き継ごう
- 住み続けたいと感じられる魅力をつくろう
- ゆとりをもって安心して暮らそう

4. 実現のための基本姿勢

市民力の発揮

(新しい公共の創造)

地域課題や社会的な課題に、市民が主体となって自主的に知恵と行動を結集して取り組む

市民と行政がお互いに特性を生かし、協働して取り組む

行政の役割

(自立と分権の地方自治を目指して)

市民との協働による「自治」と「経営」の推進、行財政改革に取り組む、持続可能な行財政運営を行う

内容の詳細は以下のホームページをご参照ください。

<http://www.city.yokohama.jp/me/keiei/seisaku/vision/>



小さなミスが大きな事故につながらないように (2006年5月15日 水道交通委員会にて)

「水道・下水道使用量等のお知らせ」の誤投函が続いています。4月の事故発生（4月中9件）を受けて、指差し呼称の徹底、検針員への指導強化など、再発防止の取り組みに関する報告を受けていましたが、5月にもミスの再発（5月中6件）が報告されています。

市民の皆さまが口にする命や健康に直結する“水”を扱う業務の性格上、ミスは許されない。水の安全を脅かすような大きな事故を起こすことがないようにするため、誤投函を継続的に許している業務管理のやり方について抜本的見直しが求められます。

個々の担当者の問題として議論するだけでなく、業務プロセスの課題としてミスの原因を追究し、改善してゆく組織的取り組みが是非とも必要です。

5月15日の水道交通委員会では、以上の意図から、次のようなポイントで質問、提案いたしました。

現場に根ざした対応をとるために、現場の担当者も交えた議論をベースに業務に潜むリスクを洗い出し、未然に対応する作業が必要。

一旦作り上げたマニュアルや規則類は、常に状況に合わせて見直してゆかなければならない。改訂とその内容の実施の徹底が不可欠。

既存の業務内容を根本的に見直す業務改革（いわゆるリ・エンジニアリング）の発想が必要。

民間にはお手本になるような事例がたくさんあります。そのような経営に学んで、お役所仕事の一掃をお願いしたい。行政の信頼性向上、業務効率のアップのためにも不可欠な作業である旨を提言しました。



市民の皆さまによる自然保護、環境保護の取り組みとして、奈良3丁目の「奈良まちづくりの会」が中心となって進められている活動を応援しています。写真は5/21に開催された「奈良エコフォーラム」の開会式の様子です。

親子連れら約300人が参加。手作りのカブトムシ飼育小屋、田んぼでの宝探し、スタンプラリーなど、自然を学び、満喫するイベントとして盛り上がりを見せていました。

市民の森の開設等、横浜市が推進する「よこはまの緑」政策との連携を図り、素早い実現を目指したいと思います。

詳しくは「奈良まちづくりの会」のホームページをご参照ください。

<http://www.geocities.jp/>



一月三舟ヨコハマ考

岩國哲人衆議院議員が毎週発表されているコラム「一月三舟」について横浜市の視点から展開いたします。

「白い地球儀」

(2006年5月22日)



岩國哲人氏は次のように説いています。

「日本の文化は木と紙の文化。・・・他国の文化には見られない美しさと独特の感性を発展させてきたのは木の文化にある・・・」**「地球環境問題に積極的に取り組み、貢献することが、日本にとっては最高のはまり役ではないか。」**

また、「青葉」区という名前こそ、横浜市の環境行政を象徴する名前であると指摘します。

横浜市は、時代の最先端を行く世界を代表する大都市として、子どもたちが自然と触れ合って暮らすことができる環境の確保とその活用のモデルを提示することが求められます。

具体的には、環境創造局が目指す緑の総量維持、身近な水・緑空間の充実などを前進させる必要があります。中田市長は5/31の議会での施政方針演説において「緑の保全・創造は何にも勝る急務」と述べています。

子どもたちの健全な成長には、のびのびと自由に遊びまわることができる自然環境が不可欠です。自然環境保護の取り組みは最重要項目であると考えます。

一月三舟の全文は以下のホームページからご覧いただけます。

<http://www.1892.jp>

山崎誠を支援するボランティアの会のページ

ボランティアの皆さまからのメッセージ

山崎誠さんのホームページを楽しみに覗かせていただいています。政治家としてお忙しい日々を過ごされていて、とても嬉しいです。私も以前に比べると、政治について関心を持つようになり、テレビや新聞を（ちょっと）まじめに見るようになりましたよ。

これから、どんな形のボランティアの会になっていくかはわかりませんが、ダイエットでもお稽古事でも、楽しくないと続かないので、楽しい会になると良いですね。選挙の時の思い出すと、大変な中にも和気藹々としたムードがありましたよね。山崎さんご夫妻のお人柄が反映されていたのかも。

友人としての願いは、その、一般人代表としての感覚を忘れないで、「山崎誠さんを応援しています！！」と、私たちボランティアが胸を張って言える政治家でいてくださいということです。頑張ってくださいね！！ 尚ぼん

ボランティアの会の名称について

先に皆さまからお寄せいただいた名前の中から、選考中です。お楽しみに！

山崎誠事務所からのお知らせ

ボランティアの日

毎月第1木曜日をボランティアの日といたしました。皆さまの月1回の交流の場として、近況報告などもさせていただきたく思います。あわせて事務所作業等をお手伝いいただければ助かります。お茶のみがてら、ご都合の良いお時間に事務所にお寄りください。

また、市政レポートをお持ち帰りいただき、ご近所等への配布もお願いできれば幸いです。

7月は6日（木）10:00-16:00 です。

市民ご相談日

市民の皆様からのご相談会を毎月第1、3木曜日（10:00-16:00）に開催することといたします。常時、ご相談を受け付けておりますが、特にこの日は終日、予定を空けてお待ちしております。是非ご活用ください。

6月は15日（木）です。



横浜市議員 山崎 誠

連絡先 山崎誠事務所

〒227-0054
横浜市青葉区しらとり台1-8
【電話】045-983-6144
【FAX】045-983-6134
【E-mail】
Yamazaki-makoto@s01.itscom.net
【ホームページ】
<http://makoto5050.net>

山崎誠のプロフィール

1962年生まれ。都立西高校、上智大学法学部法律学科卒業、青山学院大学国際政治経済学研究科国際ビジネス専攻修士課程終了。(株)熊谷組、日揮(株)勤務。アルジェリア、オランダ等での海外勤務を含め国内外の企業の業務改革プロジェクト、事業計画立案にコンサルタントとして参画。青葉区桂台で、妻、一男一女、うさぎの「みんと」と暮らす。趣味は自転車、音楽鑑賞（クラシック、ジャズ、ポップス等）、トロンボーン演奏。

3月26日に投票となりました、横浜市議員青葉区補欠選挙で当選、民間企業出身の市会議員として活動を開始しております。